

文化の側面からスポットライトをあてた、松山の最新トピックス。

Matsuyama City is a place where a very rich culture has been nurtured and passed down through generations. This section will introduce the various cultural events and efforts that are taking place in this city.

「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」オープン

日本最古といわれる道後温泉に新たな温泉文化を発信する拠点「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」が、2017(平成29)年12月26日にグランドオープンしました。

西暦596年の聖徳太子の来浴伝説が残る、飛鳥時代の建築様式を取り入れた湯屋です。道後温泉本館と同じ、全国でも珍しい、加温も加水もしていない源泉かけ流しの「美人の湯」です。屋根の上には、道後温泉本館のシンボル「塔屋」や「白鷺」を配置し、中庭には、聖徳太子が道後温泉に來浴された際、残したとされる「湯岡の碑文」の椿が生い茂っている当時の情景を市花の「つばき」で再現しています。

館内は、「太古の道後」をテーマに、道後温泉にまつわる伝説や物語などを「愛媛の伝統工芸」と「最先端のアート」をコラボレーションした作品で演出しています。浴室では、道後温泉本館にはない露天風呂があり、さらに、道後温泉本館にある皇室専用浴室の又新殿(ゆつしんでん)を再現した特別浴室を設えています。特別浴室では、昔の浴衣である湯帳(ゆちょう)を着て古代の入浴体験ができ、肌を見せたくない外国人の方などにも楽しんでいただけます。

明治時代の近代和風建築の代表である道後温泉本館と合わせて、二つの時代のお風呂が楽しめる話題性に富んだ道後温泉として、国の内外へPRをしていきます。

100年先まで輝き続ける松山の新しい宝です。



松山 なう

matsuyama

now!



豊かな自然と気候に恵まれ、ますます元気な松山のスポーツ事情。

Matsuyama is a city of sports filled with great vigor, and is blessed with rich nature and agreeable weather. Here, we will introduce matters related to sports in Matsuyama, a city of high energy.

2017(平成29)年 えひめ国体開催

2017年、64年ぶりに愛媛県初の単独開催となる「愛顔つなぐえひめ国体」「愛顔つなぐえひめ大会」が開催されました。松山市では単独の市として、史上最多の32競技36種目が行われ、ボランティアの皆さんの協力も得て、全国から来られた選手や団体、応援の方々を温かくお迎えしました。また、大会の機運を盛り上げるため、開幕直前にオリンピックの聖火にあたる炬火の火おこしイベントを開催したほか、大会期間中には、地元の食材や特産品を活用した料理を無料で振る舞うなど松山市の魅力を全国に発信しました。



みんながスポーツを
楽しもう!

松山のスポーツ施設



松山中央公園

市南部に位置し、プロ野球公式戦も開催される坊っちゃんスタジアムを中心に、プールやテニスコートなどがある。

Check!

東京ヤクルトスワローズ秋季キャンプ



2004年から坊っちゃんスタジアムを中心に毎年開催され、野球教室や学校・病院訪問など市民との交流事業も行われている。



北条スポーツセンター

市北部に位置し、天然芝グラウンドがある陸上競技場や人工芝の球技場、体育館、フットサルコートなどがある。2016年に2面の野球場もオープンした。



総合コミュニティセンター

市中心に位置し、プロバスケットリーグも開催される体育館、プール、文化ホール、こども館などがある複合施設。

盛り上がる愛媛のスポーツ



愛媛マンダリンパイレーツ

プロ野球独立リーグ「四国アイランドリーグPlus」に所属。地域に根ざした愛される球団を目指す。



愛媛FC

J2リーグに所属するプロサッカーチーム。2017シーズンはJ2リーグ22チーム中15位。今シーズンもJ1昇格を目指す。



愛媛オレンジバイキングス

2016年、愛媛をホームタウンとして活動するプロバスケットボールチーム、愛媛オレンジバイキングスが誕生。熱いご声援をよろしくお願いいたします!



マドンナ松山

2006年に結成された、四国初で唯一の女子硬式野球チーム。全国大会で準優勝するなど、全国レベルの実力を持つ。



松山フェニックス

地元社会人野球チームの廃部を受け、2000年に市民球団として結成。2014年には初となる都市対抗野球大会に出場、1勝を挙げる。

まつやま子規亭

子規記念博物館を会場に、子規が生きていたら興味を持ち、喜ぶものなどをテーマに各界の著名人による公演が行われる。



俳句ポスト50周年

2018年は俳句ポストを設置して50周年。記念イベントの開催や友好交流都市協定を締結している台北市への設置に取り組み、ことばと文学のまち松山の魅力を国内外に発信している。

道後オンセナート開催中

2014年から毎年開催しているアートイベント。2017年9月からは4年ぶりとなる大規模なアートフェスティバルとして開催。



「瀬戸内・松山」構想の推進

広島地域と松山を結ぶ海には「多島美」を感じさせる島々が集まり、そこで育まれた歴史、文化、産業など、多様な資源の宝庫となっている。



1月28日は「いい、つばきの日」

松山市の花「つばき」に愛着を持ち、笑顔が広がることを願って、つばきが咲く季節で「いい、つばき」と語呂が合う1月28日を「いい、つばきの日」とする記念イベントを開催。



文化庁長官表彰を受彰

俳句甲子園などことばを大切にするまちづくりが評価され2015年5月、松山市が文化庁長官表彰を受彰。

